

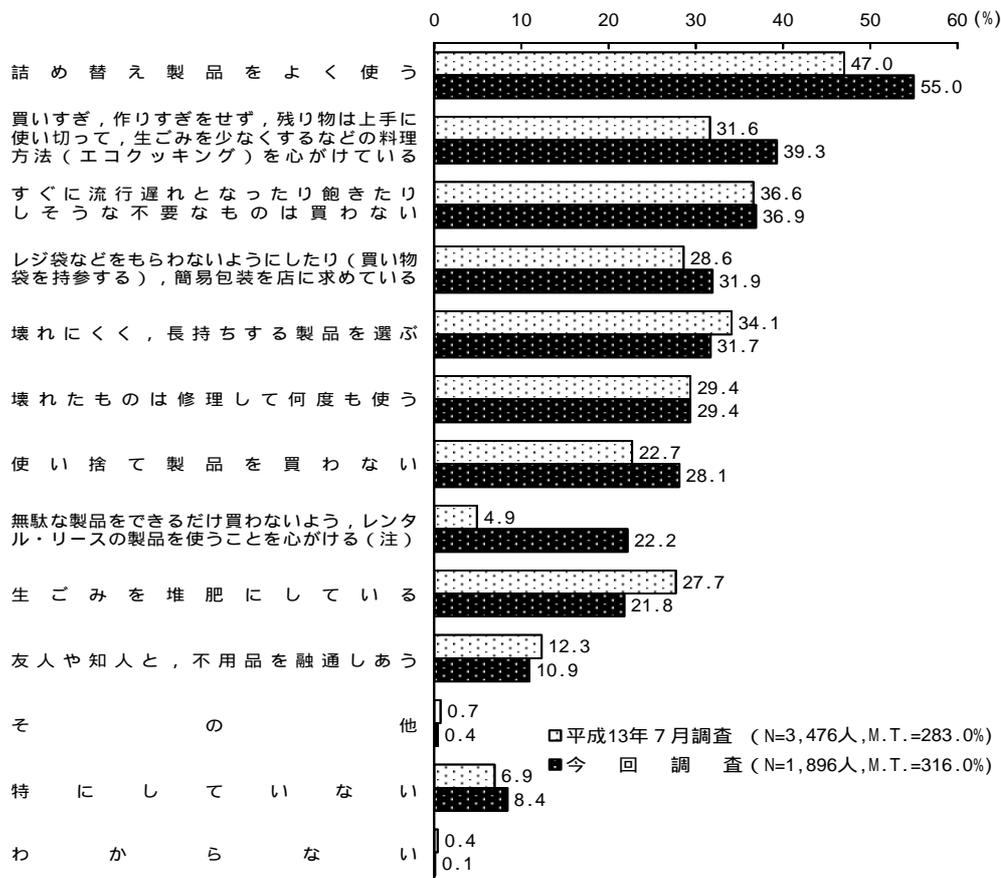
循環型社会形成に向けた行動の変化

平成17年度のデータは、「環境問題に対する世論調査」(平成17年9月, 内閣府政府広報室)に基づく
 平成13年度のデータは、「循環型社会の形成に関する世論調査」(平成13年7月, 内閣府広報室)に基づく

表 - 1 ごみを少なくするために心がけていること (複数回答)

	詰め替え製品をよく使う	いきって、生ごみを少なくするなどの料理方法(エコクッキング)に心がけている	買いすぎ、作りすぎをせず、残り物は上手に使い切る	要なものを買わない	すぐに流行遅れとなったり飽きたりしそうな不要なものは買わない	レジ袋などをもらわないようにしたり(買い物袋を持参する)、簡易包装を店に求めている	壊れにくく、長持ちする製品を選ぶ	壊れたものは修理して何度も使う	使い捨て製品を買わない	レンタルの製品をよく使う	生ごみを堆肥にしている	友人や知人と、不要品を融通しあう	その他	特にしていない	わからない	計 (M.T.)
平成13年度 (N=3,478, M.T.=283.0%)	47.0	31.6	36.6	28.6	34.1	29.4	22.7	4.9	27.7	12.3	0.7	6.9	0.4	283.0		
平成17年度 (N=1,896, M.T.=316.0%)	55.0	39.3	36.9	31.9	31.7	29.4	28.1	22.2	21.8	10.9	0.4	8.4	0.1	316.0		

(複数回答)



(注) 平成13年7月調査では、「レンタルの製品をよく使う」となっている。